

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第7区分
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-511445(P2005-511445A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-505248(P2003-505248)

【国際特許分類】

B 6 5 H 19/18 (2006.01)

B 6 5 H 35/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 19/18 C

B 6 5 H 35/04

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月24日(2005.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

幅を規定しあつ最外層を提供するシート材料のロールにスライシングテープを自動的に貼付する方法であって、

前記最外層の一部分を前記ロールの残部から持ち上げるステップと、

前記ロールが巻取部分と繰出部分とによって画定されるように、前記最外層の持ち上げられた部分を切断して、前記ロールの残部からさもなければ離間される前記ロールの前縁を形成するステップであって、該前縁が、該巻取部分上の規定貼付ラインに対して半径方向に位置合わせされるように、該切断を、該巻取部分の外周に対して既知の空間位置で行うステップと、

前記規定貼付ラインにて前記ロールの前記巻取部分に、該ロールの前記幅の少なくとも一部分に沿って延びるように、前記スライシングテープを貼付するステップと、

前記最外層が前記スライシングテープの第1の部分を覆い、かつ該スライシングテープの第2の部分が前記前縁に隣接して露出されたままであるように、該前縁を該スライシングテープの外面に接着するステップと、

必要に応じて前記最外層の空間位置を感知するステップと、
 を有することを特徴とする方法。

【請求項2】

スライシングテープをシート材料のロールに貼付するための装置であって、

前記ロールの最外層に係合して該最外層を操作するシート係合機構と、

前記ロールの幅に沿って該ロールの前記最外層を切断するシートカッタと、

前記スライシングテープを前記ロールに貼付するテープヘッドを有するテーピング装置とを具備し、

前記シート係合機構、前記シートカッタおよび前記テーピング装置が、既知の空間位置において互いに接続されて、前記テープヘッドが、該シートカッタによって提供された切断線に対応するテープラインに沿って前記スライシングテープを貼付するように構成され、

必要に応じて、前記シート係合機構に対する前記ロールの空間位置を感知するための口

ールセンサをさらに具備すること、
を特徴とする装置。

【請求項 3】

前記シート係合機構が負圧源を含む、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記テーピング装置が、前記スライシングテープを切断するためのテープカッタをさ
らに備え、該テープカッタが、前記ロールに貼付した直後の前記スライシングテープを
切断できるように、前記テープヘッドに隣接して配置される、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記テーピング装置が、さもなければ前記テープヘッドによって前記ロールに貼付され
るスライシングテープの外面に、シート材料の前縁を押し付けるためのプレスダウンロ
ーラをさらに備える、請求項 2 に記載の装置。